

さらなる「成長」を目指し 「みらい創生」へ



施政方針大綱を表明する
濱田剛史市長（3月1日）

私が生まれた昭和39年は、東京オリンピックが開催されるとともに、東海道新幹線が開通するなど、いわゆる高度成長期と呼ばれる時代の真っただ中でした。

それに伴い、我がまち高槻も、昭和40年頃から昭和50年代にかけて、関西のベッドタウンとして急激に人口を増やし、現在の高槻市の輪郭を形成しました。当時の高槻について書かれた書籍に、人口流入を抑制する政策を進めていたとの記述もあるほど、その急拡大は目を見張るものがありました。

また、この時代は経済成長のみならず、それに伴って、国民皆保険や年金制度など、福祉制度の基礎も確立した時代であり、様々な分野において、今に至る行政の基盤が形成された時代でありました。

その後、バブル経済と呼ばれる時代を経て、1990年代後半からは、経済政策の転換により、我が国の成長率は伸び悩み、回復しないまま現在に至っています。

そして、もはや我が国は成長が望めないという考え方が国や地方を覆い、官を縮小させることが是とされ、さらには成長という言葉自体が好ましくないという風潮も見受けられるようになり、それがさらなる経済縮小をもたらす、貧困を拡大するという憂慮すべき状況となっています。

このような長年の経済停滞にもかかわらず、都市機能が維持され、私達はその利益を享受できているのは、この高度成長期の恩恵によるところが大きく、このことを私達は改めて認識する必要があります。しかし、私達が受けてきた、これら高度成長期の恩恵も時代が進むにつれ次第に希薄化しつつあります。

そこで、私は、3期目の集大成の年となる今年度のスタートを切るにあたり、あえて、「成長」という言葉を掲げたいと思います。

すなわち、私達が先人から受け継いだように、私達は、輝かしい高槻を次世代に引き継ぐ責任があり、そのため

には、高槻を更に「成長」させていく必要があるのです。

もっとも、ここでいう「成長」は、経済的なことのみを意味するものではありません。福祉、教育、文化及び都市基盤整備などのすべての分野において、私達は、高槻の更なる「成長」を目指すのです。もちろん、地方自治体の財政は、国の財政とは異なり、その主な財源は税である以上、限りがあり、財政の健全性は維持しなければなりません。しかし、近年、支配的となっている微視的・皮相的な緊縮財政的思考のみによる行政では、何も生まれないどころか、次世代に大きな負担を残すこととなります。

私が3期目のスタートにおいて、市政運営に当たり掲げた「みらい創生」の核心は、まさにこの点にあります。

先ほど述べたとおり、令和2年度は安満遺跡公園も全面開園し、高槻城公園芸術文化劇場の建設も順調に進み、日本将棋連盟の関西将棋会館の高槻移転も決定し、高槻が大いに飛躍する礎が築かれました。そして、都市基盤の整備、福祉・教育施策も充実したことで、府内トップクラスの健康寿命も実現し、子どもの学力も向上しました。さらに、子育て世帯の転入も増加するなど、まさに、「みらい創生」と呼ぶにふさわしいまちづくりを進めたことで、これらが花を開いてまいりました。

令和4年度も、現状に甘んじることなく、この勢いを加速し、輝かしいまち高槻を次世代に残すべく、健全財政を維持しながら、各行政分野において積極的な投資を行い、高槻を更に「成長」させる「みらい創生」のまちづくりを進めてまいります。

引き続き、高槻を、全国から注目される強い輝きを放つまちとすべく、全力で取り組んでまいりますので、より一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

高槻市長 濱田 剛史

濱田剛史市長 施政方針を表明

濱田剛史市長は、令和4年度の市政運営の方針や重点施策などをまとめた施政方針大綱を発表しました。

今号では施政方針大綱の概要をお知らせします。

なお、施政方針大綱の全文は、行政資料コーナー（市役所本館1階）で閲覧できるほか、市ホームページに掲載しています。

036718

令和4年度 施政方針

重点施策

市では、8つの将来都市像を実現することを目指して、次の施策に取り組みます。また、まちづくりの3本柱「強靱なまちづくり」「富田地区のまちづくり」「高槻の歴史を継承するまちづくり」を積極的に推進します。

さらに今年度も、新型コロナウイルス感染症の予防や市民生活の支援、市内経済の活性化に向けた施策を強力に推進します。

「**関西の中央都市 高槻**」にふさわしいまちに向け、重点施策を着実に推進

令和4年度の予算編成

一般会計	1,362億7,718万2,000円
特別会計	1,108億6,035万9,000円
合わせて	2,471億3,754万1,000円

※詳しい予算内容は本誌5月号に掲載

1 都市機能が充実し、快適に暮らせるまち

高槻インターチェンジ周辺(成合南地区)の土地区画整理事業を支援

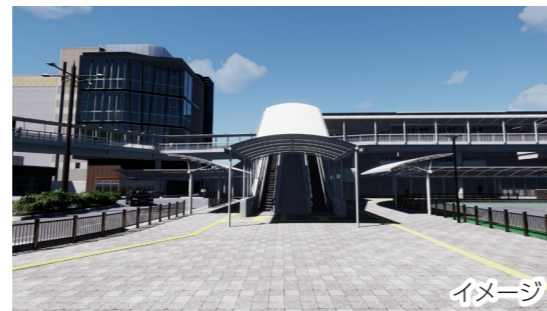


新たな産業立地など、地域特性に応じた土地利用の実現を図るため、令和4年度末のまちづくりに向け、公共施設整備などを行う土地区画整理事業を適切に支援します。

その他

- ・富田地区のまちづくり基本構想を策定
- ・JR高槻駅南において、権利者などによる再整備に向けた取り組みを支援
- ・「市営バス経営戦略」に基づく取り組みを推進
- ・「水道事業基本計画」に基づく取り組みを推進

JR高槻駅北の駅前広場を整備



バスロータリーの改良やエスカレーターを設置、デッキ上屋の設置など、本市の玄関口にふさわしい駅前広場を整備します。

- ・学校施設の全てのブロック塀撤去など、公共施設のブロック塀を計画的に撤去、民間所有ブロック塀の撤去を支援
- ・富寿栄住宅建て替え事業を推進
- ・下水道施設の老朽化対策・地震対策を推進

2 安全で安心して暮らせるまち

新 市制施行80周年記念事業として「市全域大防災訓練」を実施



全ての市民が、災害を我が事として捉え、必要な備えができるよう、コミュニティ市民会議と共に市民や防災関係機関などと連携して実施します。

その他

- ・新 「(仮称)市民防災協議会」の発足を支援するなど、既存防災組織や関係団体との連携を強化
- ・新 災害タイムラインを河川管理者など多機関が連携した内容に改定
- ・コミュニティタイムラインの策定を進める地域の取り組みを支援
- ・児童の登下校時の安全対策を推進

中消防署富田分署の建て替えと多機能型消防団等訓練施設の整備を推進



防災拠点の強化を図るため、中消防署富田分署を建て替えるほか、地域防災力の充実強化を図るため、多機能型消防団等訓練施設の整備を推進します。

- ・「総合雨水対策アクションプラン」に基づき施設整備を推進
- ・消防団の処遇改善による団員の確保
- ・大阪府三島救命救急センターの移転に伴い特別救急隊・救急ステーションを再整備
- ・特殊詐欺や悪質商法による被害の未然防止の取り組みを推進

3 子育て・教育の環境が整ったまち

新 出産後の産婦健診費用新たに助成



出産後(2週間・1カ月)の産婦健診費用を新たに助成し、経済的負担の軽減を図ります。また、産後うつ予防や早期支援に取り組みます。

その他

- ・新 (仮称) 富田認定こども園の整備(富田保育所と富田幼稚園の統合に向けた取り組み)
- ・拡 民間学童保育室の活用による高学年児童の受け入れを開始

新 中学校での給食費の無償化と35人学級編制の導入

4月から市立中学校の給食費を無償化し、子育て世帯の家計への負担軽減を図ります。また、令和4年度から1年生、5年度から全学年で35人学級編制を導入します。

→詳しくは本誌28ページへ

新 コミュニティ・スクールの導入を推進

学校と地域が協働して教育の質の向上を図るため、2つのモデル中学校区で導入を進めます。

→詳しくは本誌24・25ページへ

- ・拡 小中学校における空調設備の設置・更新を推進
- ・拡 学校図書館の蔵書を計画的に増冊
- ・新 電子図書館サービスを開始(市立図書館で電子書籍の貸し出しなどのサービスを提供)

4 健やかに暮らし、ともに支え合うまち

大阪府三島救命救急センター
大阪医科薬科大学病院への移転を支援



7月の大阪医科薬科大学病院への移転が円滑に実施できるよう支援します。

その他

- ・新 未就学児の国民健康保険料均等割額の5割軽減を導入
- ・総合保健福祉センターの改修(受診環境の向上など)

高槻島本夜間休日応急診療所
移転に向けた取り組みを推進



令和5年4月の旧弁天駐車場敷地(八丁西町)への移転に向け、施設整備を進めます。

- ・新 「(仮称)福祉ヴィレッジ」の整備を検討
- ・「第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画」に基づく取り組みを推進
- ・地域福祉会館を再整備

5 魅力にあふれ、にぎわいと活力のあるまち

芥川山城跡の国史跡指定を見据えた取り組みを推進し「歴史のまち高槻」の魅力在全国に発信



令和4年度中の芥川山城跡の国史跡指定を見据えて芥川山城ARアプリを作成します。

その他

- ・観光協会や商工会議所などと連携し、「オープンたかつき」を実施
- ・市外企業の誘致と市内企業の定着を促進
- ・商工会議所との連携強化により市内商工業を振興

芸術文化劇場の建設と併せて
高槻城公園の整備を推進



かつての高槻城の風情を感じられるよう、歴史的景観に配慮した整備を進め、市の新たなシンボルエリア創出に取り組めます。

- ・三好長慶の生誕500年を記念し、御城印・武将印の発行や特別展を開催
- ・芥川緑地に関西最大級の健康遊具数を備えた健康づくり広場の整備を推進

6 良好な環境が形成されるまち

エネルギーセンターにおける取り組みを推進

第一工場を解体し、跡地にリサイクル施設を整備します。また、第三工場の運転計画の見直しなどで、売電収入の増加を図ります。



その他

- ・「気候非常事態宣言」を発出し、施策を推進
- ・エコハウス補助金などにより省エネ・創エネ機器設置などを支援

7 地域に元気があって市民生活が充実したまち

関西将棋会館移転に伴う施策を推進



令和5年度中の移転に向けた取り組みを推進するほか、引き続き、建設支援のための寄附金募集に取り組めます(本誌6ページに関連記事)。また、オープンに向け、市民や全国の将棋ファンの機運を高めるイベントを開催します。

拡 将棋文化を振興



日本将棋連盟との包括連携協定に基づき、子どもやアマチュアの将棋大会などを開催。また、王将戦に加え、新たに令和5年度の名人戦の誘致に向け取り組みます。

さらに、高槻産の木材を使用した将棋駒を小学1年生に配布するなど、将棋文化の裾野拡大を図ります。

芸術文化劇場の令和5年3月開館に向けた整備などを推進



プレイベントや開館記念イベントを通して機運を高めるとともに、文化芸術の新たな発信拠点として、多くの人々が集うにぎわいの場を創出します。

新 将棋に係る専門部署を創設

新たに「将棋のまち推進課」を設け、将棋文化のさらなる振興に向けた取り組みを一体的に推進します。→詳しくは本誌41ページへ

その他

- ・コミュニティ市民会議や各地区コミュニティのまちづくり活動・防災活動を支援
- ・マイナンバーカードの普及を促進
- ・新 新名神高速道路の高架下を利用したスポーツ施設の整備を検討

8 効果的・効率的な行財政運営が行われているまち

ICT利活用を推進

行政手続のオンライン化などを推進し、市民サービスの向上や業務の効率化を図ります。

その他

- ・「第6次総合計画」に基づき8つの将来都市像実現に向けた施策を推進
- ・公共建築物の効率的な維持管理を推進

新型コロナウイルス感染症への取り組み

拡 市独自のプレミアム付商品券を発行

新型コロナの影響を受けている市内飲食店や市民の家計を支援するため、市独自の第3弾プレミアム付商品券を発行します。また、年末に向けて第4弾も実施します。



ワクチン接種・感染予防対策を実施

感染予防対策を適切に実施するとともに、市民が安心して医療を受けられる地域医療体制の構築を推進します。また、ワクチン接種については、関係機関と連携し、円滑に実施します。

